

# 香川県オリジナル米「おいでまい」の紹介

## ●「おいでまい」の育成

「おいでまい」は、香川県農業試験場が育成した米です。

平成 14 (2002) 年に、食味と品質の良い「あわみのり」を母、食味が良い「ほほえみ」を父に、人工交配して生まれました。

平成 23 (2011) 年と 24 (2012) 年は、県内各地で、品質が良く、おいしい米を栽培するための試験栽培を行い、県内を中心に試験的な販売を行いました。

## ●「おいでまい」はどんな米？

「おいでまい」の特徴は、

1. 草丈が短く、倒伏しにくく、栽培しやすい。
2. 籾の熟れムラが少なく、きれいに熟れる。
3. 玄米の粒に丸みがあり、粒ぞろいが良い。
4. 「ヒノヒカリ」より出穂後の高温に強く、高温障害による白未熟粒（乳白、背白、基部未熟等）の発生が少なく、品質が良い。
5. 炊飯したときに、米の色が明るく艶がある。
6. 味にクセがなく、どんな料理ともあう。
7. 「コシヒカリ」並みの粘りと味でおいしい。



「ヒノヒカリ」(左)と「おいでまい」(右)

## ●「おいでまい」の今後の予定

平成 25 (2013) 年は、綾川町を中心とした県内全域 600ha 程度で一般栽培を開始しています。

収穫量も大幅に増加することが見込まれますので、平成 24 年より多くのお米を長期間にわたってお届けできると考えています。



玄米の粒の写真

「おいでまい」委員会